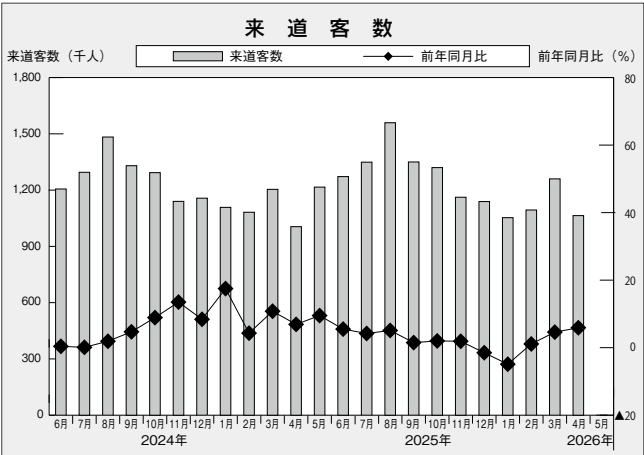
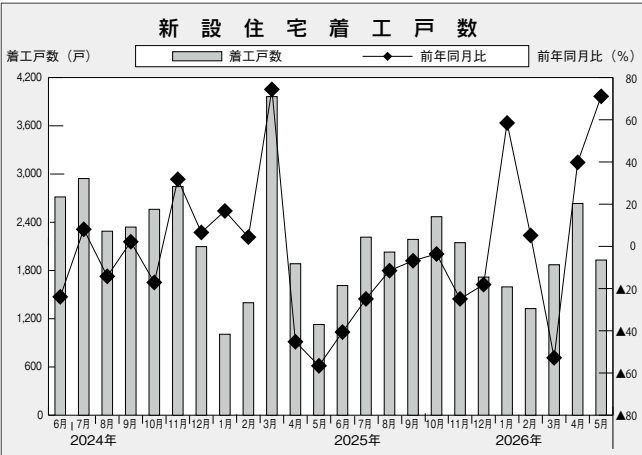
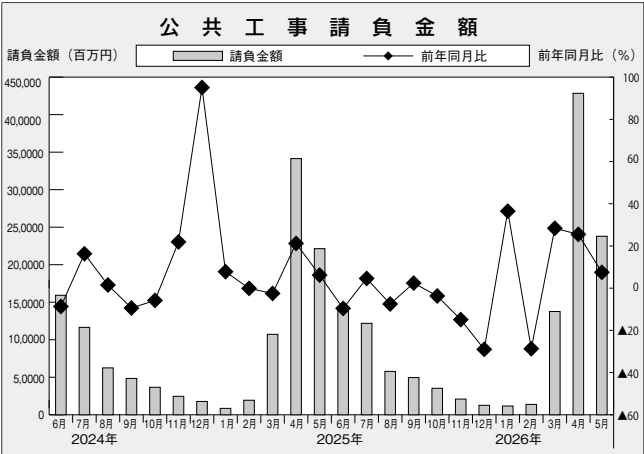
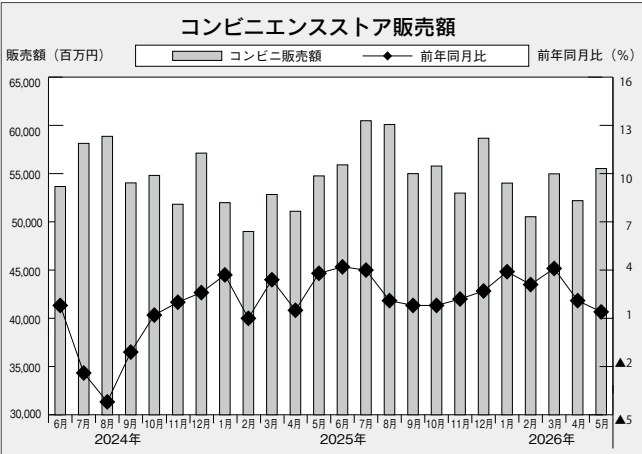


北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



北海道の主要経済指標		コンビニ販売額		公共工事請負額		新設住宅着工戸数		来道客数	
		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	請負額 (百万円)	前年同月比 (%)	着工戸数 (戸)	前年同月比 (%)	来道客数 (千人)	前年同月比 (%)
2024	6月	53,663	1.8	159,292	▲ 8.7	2,715	▲ 23.9	1,206	0.4
	7月	58,134	▲ 2.4	116,498	16.3	2,944	8.1	1,295	0.1
	8月	58,864	▲ 4.2	62,509	1.5	2,289	▲ 14.2	1,483	1.9
	9月	54,038	▲ 1.1	48,460	▲ 9.4	2,340	2.2	1,330	4.7
	10月	54,812	1.2	36,653	▲ 5.8	2,561	▲ 17.1	1,293	8.9
	11月	51,824	2.0	24,592	21.9	2,844	31.8	1,140	13.5
2025	12月	57,125	2.6	17,741	95.1	2,097	6.6	1,157	8.4
	1月	51,986	3.7	8,544	7.8	1,007	16.8	1,108	17.5
	2月	49,000	1.0	19,377	▲ 0.1	1,399	4.4	1,082	4.3
	3月	52,835	3.4	107,227	▲ 2.5	3,963	74.4	1,204	10.8
	4月	51,096	1.5	341,431	21.2	1,884	▲ 45.2	1,005	6.9
	5月	54,762	3.8	221,357	6.2	1,128	▲ 56.6	1,216	9.5
	6月	55,905	4.2	144,051	▲ 9.6	1,613	▲ 40.6	1,272	5.5
	7月	60,479	4.0	121,895	4.6	2,215	▲ 24.9	1,349	4.2
	8月	60,088	2.1	57,831	▲ 7.5	2,029	▲ 11.5	1,559	5.1
	9月	54,999	1.8	49,614	2.4	2,187	▲ 6.8	1,350	1.5
	10月	55,784	1.8	35,313	▲ 3.7	2,469	▲ 3.6	1,320	2.0
	11月	52,981	2.2	20,933	▲ 14.9	2,146	▲ 24.9	1,162	1.9
2026	12月	58,667	2.7	12,597	▲ 29.0	1,718	▲ 18.1	1,139	▲ 1.5
	1月	54,016	3.9	11,659	36.5	1,596	58.5	1,053	▲ 4.9
	2月	50,526	3.1	13,820	▲ 28.7	1,326	5.2	1,094	1.1
	3月	54,976	4.1	137,668	28.4	1,871	▲ 52.8	1,260	4.6
	4月	52,193	2.1	428,453	25.5	2,634	39.8	1,064	5.9

※2026年5月の来道者数は、統計資料不足につき更新せず

今号の特集は、信金中金総研発行の金利・為替見通し№2026-4(2026.7.2発行)より、国内経済・金融情勢について、一部抜粋転載してご紹介いたします。

信金中金総研 上席主任研究員 大橋 一平 氏
研究員 佐藤 愛佳 氏

1. 日本経済は、中東情勢の影響を吸収しつつあり、若干減速も堅調を維持

◆26年1～3月期の実質GDPはプラス成長を維持。足元の設備投資は堅調

26年1～3月期の実質GDP（2次速報）は、前期比0.5%増（年率1.8%増）と2四半期連続のプラス成長を維持した。1次速報時点からみて、設備投資が大幅に下方修正されたことなどから、実質成長率は年率で0.3%ポイント低下と下方修正となった。もっとも、引き続き国内需要は堅調さを維持しているほか、外需が好調であることなどにより年率2%程度の高めの成長が維持された。

設備投資は下方修正となったものの、6月短観における2026年度設備投資計画をみると、大企業製造業は前年度比10.1%増（3月短観時点では2.7%増）、大企業非製造業は12.3%増（同3.6%増）、大企業全産業では11.5%増（同3.3%増）と、製造業、非製造業を問わず、積極的な投資スタンスが窺われている。規模別にみると、中堅企業全産業は6.0%増（同3.4%増）と大企業と同様に積極的な投資スタンスにある。中小企業全産業は8.3%減（同8.1%減）と減少計画ではあるものの、3月短観調査対比9.1%増と大幅な上方修正となった。このように、規模、業種を問わず投資意欲は旺盛であり、2026年度も設備投資は堅調を維持するものと思われる。

◆企業の業況感は良好な水準を維持している

企業マインドについて、6月短観の業況判断DIをみると、全規模全産業で18と横ばいだった。中東情勢緊迫化の影響が懸念されたが、長期化してはいるものの、停戦合意に向けた動きがみられているほか、原油市況も幾分落ち着きをみせていることなどから、中東情勢が業況感に与える影響は和らいできたものとみられる。規模別業種別にみると、中小企業の非製造業などを中心に、原油価格上昇に起因する仕入価格上昇に対する価格転嫁の遅れもあって業況が悪化する業種もみられた。他方、大企業製造業では、むしろそうした素材関連の市況上昇もあって化学や非鉄金属などが改善したほか、AI・半導体関連需要の好調などから電気機械などの機械関連にも改善がみられた。中小企業の業況感を4～6月期の全国中小企業景気動向調査でみると、1～3月期対比1.2ポイント低下したものの、概ね横ばい圏内の推移にとどまった。各種資材不足やそれに起因する仕入価格上昇に難渋するも、価格転嫁が進むことで、企業マインドの一段の悪化が回避されたものとみられる。

◆実質賃金は3か月連続で前年比プラスを維持

4月の毎月勤労統計（速報、事業所規模5人以上）は、4か月連続で実質賃金が前年比プラスとなった。5月についても、消費者物価指数が既往の政府による各種支援策により消費者段階の物価は上昇が抑制されているため、実質賃金のプラスが継続する公算が高い。

この間、4月の企業物価指数は前年比4.9%上昇から5.3%へと上方修正となったうえ、5月は6.3%上昇と前年比上昇率が拡大した。同指数はBtoBの取引を対象とした物価指数であり、一定のラグを伴って消費者段階の価格に転嫁される可能性が高い。今後も実質賃金が前年比プラスを維持していくことができるか引き続き注視していく必要がある。

◆実質賃金がプラスを維持するも、個人消費は堅調を維持

1～3月期の実質個人消費（GDP統計）は、年率1.3%増と5四半期連続のプラスと緩やかに増加していることが確認された。形態別にみると、耐久財は減少となったものの、サービス、非耐久財は増加となった。ただ、5月の供給側統計では、乗用車販売やエアコンなどの家電販売が好調となるなど耐久財は好調を維持しているものとみられる。なお、消費者態度指数をみると、6月は33.8と2か月連続で改善した。インフレ加速懸念が高まっている模様であり、水準は依然として低いが、消費者マインドは徐々に持ち直しつつある。

◆原油やナフサは総量としての供給は概ね回復。今後は目詰まりの解消がポイント

中東情勢に関する関係閣僚会議の資料によると、原油は、6月に2025年平均日量の8割、7月に10割を調達できる見通しにある。また、5月の貿易統計をみると、ナフサの輸入数量は前年比13.7%減（4月は37.7%減）と代替調達の進展が確認できる。もっとも、未だ入手困難を訴える企業の声が聞かれており、政府では目詰まり解消に向けた取組みが進められている。

価格面では、高止まりが指摘されてきた原油、ナフサともに、中東情勢緊迫化前を若干上回る程度まで、想定していたより早いスピードで価格の下落が進んだ。ただし、ホルムズ海峡に敷設されたとされる機雷の存在や石油関連施設への被害、世界的に取り崩された石油備蓄の復元需要などを考えると、中東情勢緊迫化前の状況へ完全に戻るまでにはなお時間を要するものとみられる。わが国については、このところの円安による影響や代替調達による輸送コスト増の影響も懸念される。数量が確保されるもとで、引き続き価格上昇の影響が懸念されるが、春闘や最低賃金引上げの状況を踏まえると、実質賃金改善や電気・ガス補助金などの家計支援策が需要を下支えすることで、一時的な踊り場はあっても、景気が腰折れするような事態は生じないとみている。

2. 日銀は金融緩和度合いを点検しつつ、更なる利上げを窺う

◆6月会合では、経済の動向を見通しに沿った動きと評価し利上げ。今後は金融緩和度合いを点検しつつ、更なる利上げを展望

日銀は、前回（6月15～16日）の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%から1.0%に引き上げた。消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比2%を下回っているものの、エネルギー負担軽減策などの特殊要因を除いた基調物価で判断を行っているなかで、経済・物価情勢が日銀のメインシナリオに沿って推移していること、原油等の代替調達が進み、経済の下振れリスクが低下したことなどを背景に、7対1の賛成多数で利上げを決めた。実質金利が短中期ゾーンにおいてマイナスとなっていることに加え、企業等の資金需要が増加していること、CP・社債市場で良好な発行環境が続いていることなどから、金融環境は緩和的であるとして、金融政策はなお緩和的であるとした。

今後については、「現在の金融環境は緩和的であることを踏まえ、経済・物価・金融情勢に応じて、引き続き政策金利を引き上げ、金融緩和の度合いを調整していくことになる」と、利上げ局面が継続しており、少なくとも金融環境が緩和的である間は利上げを継続することを示した。

◆原油市況の高止まりや企業物価の大幅な上昇など踏まえ、利上げにより金融緩和度合いを調整へ

日銀が公表している議事要旨から金融環境の緩和度合いを点検する際に使用されている指標を確認すると、4月会合の際の執行部報告では、金融環境の説明として、①実質金利、②金融機関の貸出態度、③CP・社債市場の発行環境、④企業の資金繰り、⑤倒産などに触れている。このうち6月会合後の状況が一部反映されているとみられる短観のDIを確認すると、貸出態度判断は13と横ばいとなり、引き続き大幅な「緩い」超を維持した。資金繰り判断は11と1ポイント上昇し、引き続き大幅な「楽である」超を維持した。CP発行環境判断は4と1ポイント上昇し、引き続き「楽である」超を維持した。

今後は、こうしたアンケートベースの情報に加え、貸出の増加ペース、企業の設備投資スタンス、金融機関の貸出運営方針などの点検を通じて、金融緩和度合いを点検していくものとみられる。6月の利上げの影響はラグを持って表れるほか、足元で原油価格が一定程度下落していることなどを踏まえると、次回の利上げ判断は12月となるとみている。その後も半年に1回程度のペースで利上げを行い、利上げの都度、金融環境への影響を点検しながら、中立金利の水準を探っていくとみている。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。
是非、皆様の**販路拡大やビジネスのご連携**にお役立て下さい。
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

PASTIME FACTORY(パスタム ファクトリー) 中谷 和恵 様

〒053-0814

苫小牧市糸井143-23

苫小牧発のアウトドアブランド「PASTIME FACTORY」を企画。同ブランドのロゴ入りテーブル・椅子などの各種アウトドア用品やインテリア・雑貨などを販売しています。

実用性とデザインを両立した「オシャレでかっこいい」製品を多数取り揃えており、アウトドア系ユーチューバーにも取り上げられるなど、国内外からも注目を集めています。

特に木製品は本場旭川のメーカーで製造された質の高い商品を取り扱っています。他とは違うこだわりを出したい方や入門用アウトドアギアからのステップアップとしてもおすすめです。

HPアドレス：Pastime002.stores.jp



PASTIME.FACTORY



<主要商品等(技術etc)>

アウトドア用品・インテリア・雑貨

【連絡先】

TEL：0144-84-7044

FAX：0144-84-7084

E-mail：pastime@zc.wakwak.com

ご担当者：中谷 和恵 様

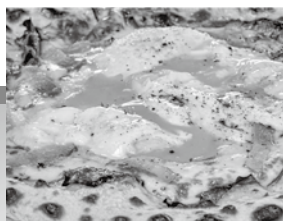
テアール 株式会社 代表取締役 小林 廉 様

〒059-1742

勇払郡厚真町字浜厚真467番地1

オープンから6年目を迎える「FORT by THE COAST」です。

厚真町浜厚真に位置し、平たい地面の上で放し飼いにする「平飼い」で育てられた平飼い卵や、卵を産み終えた親鶏を使ったピッツアやパスタ、スパイスカレーなど、美味しい料理をお召し上がりいただけます。農業倉庫をベースにした広い店内には、約50席ございますので、ゆっくりとお食事を楽しめる空間となっております。一部メニューを除き、テイクアウトも可能です。皆様、是非ご来店ください。



HPアドレス：https://10a.jp/fort/

Instagram：@fortbythecoast_10a



<主要商品等>

平飼い有精卵、チキン、
ピッツアなど

【連絡先】

電話：0145-28-2726

ご担当者：

代表取締役 小林 廉 様

最近の管内のトピックス —新聞報道より—

※14季ぶりアジア王者 レッドイーグルス2冠

アイスホッケーアジアリーグは2日、苫小牧市のネピアアイスアリーナでファイナル(決勝)の第3戦が行われた。ここまで第1、2戦とアウェーで2連勝し、優勝に王手をかけていたレッドイーグルス北海道は、HLアニャンに延長戦の末4―3で勝利。3連勝で14季ぶりのアジア王者に輝き、全日本選手権(昨年12月)に続いて2冠を達成した。—中略— 創立から100季、クラブ化からは5季目と、節目のシーズンだったレッドイーグルスは、レギュラーリーグでは8割を超える勝率で首位に立ち、セミファイナルを4位の東北フリーブレイズに2勝1敗と勝ち越した。先月末に韓国安養市で行われたファイナルで2連勝し、初めてホーム苫小牧でアジアリーグ王者を決めた。—後略—
(4月3日 苫小牧民報より—以下同じ)

※新千歳清潔さ世界一 英国のリサーチ社 旅客3000万人以下部門

英国の航空サービスリサーチ業スカイトラックスが発表した2026年の国際空港評価「ワールド・エアポート・アワード」で、新千歳空港が旅客数3000万人以下の部門で「世界で最も清潔な空港」と評価された。24年の「世界で最も改善された空港」の受賞に次ぐ2度目の世界一に。—中略— スカイトラックスは、1999年から全世界の空港施設や案内表示、ホテル、顧客満足度などを調べ、空港業界で最も荣誉ある賞とされる「ワールド・エアポート・アワード」を発表している。今回は昨年8月～今年2月、100以上の国や地域の約570空港について調査し、部門ごとに順位を付けた。新千歳は「世界で最もクリーンな空港」の旅客数3000万人以下部門で、前年2位から順位を上げて「世界一」の称号を得た。2位は中部国際空港セントレア、3位はバーレーン国際空港だった。—後略—
(4月7日)

※道内初の恐竜博物館開業 むかわ町穂別

むかわ町穂別恐竜博物館が25日、開館した。1982年開館の穂別博物館を道内初の恐竜博物館としてリニューアルし、新設の恐竜館と既存施設を海洋化石館とする2館体制とした。同日午前10時半からオープニングセレモニーが開催され、町民や来賓ら約450人が集まり、新博物館のスタートを祝った。セレモニーで、柊丸直士町長は「カムイサウルス・ジャポニクス(通称むかわ竜)が2003年の発見以来、多くの関係者、地域の皆さまの情熱と努力が積み重ねられ、歴史的な節目に至ることができた」とあいさつした。—中略— 恐竜博物館としては国内6カ所目。18年9月の胆振東部地震から創造的復興を目的に穂別地区で進める復興拠点施設等整備事業の一環。—後略—
(4月25日)

※漁獲高8年ぶり20億円超 日本一のホッキ貝が堅調

苫小牧市がまとめた2025年の市内漁業統計(速報値)によると、魚介類の漁獲量は前年比1.9%増の5409トン、漁獲高は26.6%増の24億1600万円(100万円未満は切り捨て)だった。数量は3年ぶり、金額は2年連続でそれぞれ前年実績を上回り、8年ぶりに20億円を超えた。主力のサケやスケトウダラは不漁傾向が続く中、水揚げ日本一を誇るホッキ貝が堅調で、前浜が誇る多様な魚介類も金額上昇を支えた。—後略—
(5月16日)

※安平 人口前年比20人増 教育と移住定住策が奏功

安平町は、昨年度末の人口が前年同期と比べ20人増の7234人となった。22年から4年連続で転入が転出を上回る社会増となっていたが、昨年初めて社会増が自然減を上回り純粋な人口増に転じた。23年4月に開校した早来学園を中心に教育を柱にしたまちづくりを進めてきたほか、道の駅あびらD51(デゴイチ)ステーションや菜の花畑、有機野菜の栽培など、町の魅力を発信し、共感した人の転入が増えている、と町はみている。—後略—
(5月30日)

※ハスカップ狩りシーズン始まる 厚真 7月中旬ごろまで

ハスカップの作付け面積日本一を誇る厚真町で、ハスカップ狩りのシーズンを迎えた。21日から町内の農園が順次開園して、町内外から多くの人々が訪れている。収穫時期は農園によるが、7月中旬ごろまで楽しめる。町高丘の頗美宇(ハビウ)農園は、約3000本の樹木にハスカップの実がなり、21日の開園初日に札幌市や苫小牧市などから人が訪れ、思い思いに実を摘み取っていた。—後略—
(6月23日)

とましん結婚相談所「LLB会」

とましん結婚相談所「LLB会」事務局

苫小牧市表町3丁目1番6号

苫小牧信用金庫本店7階

電話 0144-56-5026

【平日 9:00~17:30】

お気軽に、お問い合わせください！



■活動実績

(令和8年6月末現在)

入会者数	男性	416名
	女性	414名
	合計	830名

お見合回数 1,315回

結婚又は婚約中 78組

子供の誕生 27名

■会員資格

1. 苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
 2. 法的にも実生活上においても独身の方
 3. 結婚したいという明確な意思のある方
 4. 反社会的勢力でないこと
- ※ 会員の有効期間は入会日より3年間で
(希望により延長も可能です)

■入会にあたりご提出いただくもの

1. 申込書類
(当会所定の入会申込書、プロフィール、誓約書)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書(任意)
4. 収入証明書(源泉徴収票など)
5. 申込書貼付用顔写真1枚(縦横5cm程度)
6. お相手へのご紹介用写真2カット
(L判サイズ、1枚は全身が写っているもの)
7. 入会預り金 10,000円
(退会時には全額返却いたします)

■LLB会のシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィール及び写真」を見ていただきます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し了解がとれれば、お見合いをしていただきます。(お見合い会場は苫小牧信用金庫本店内)
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月の交際期間を設けます。交際期間の中で「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただきます。

とましん景況レポート No.167

令和8年8月発行

発行／苫小牧信用金庫 編集／業務推進本部 地域支援グループ

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)31-2107 FAX(0144)37-2323

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。